

# 狂言を学ぼう！「こども狂言塾」塾生募集

問合せ／文化・観光・スポーツ課 ☎42-8756  
FAX42-8745 bunka@city.kasai.lg.jp

## ～野村萬斎さん監修・演出～ 新作狂言『根日女（ねひめ）』を演じ、狂言を楽しく学びます



野村萬斎さん

平成 27 年 5 月に「播磨国風土記 1300 年祭」で、狂言師の野村萬斎さん監修・演出の新作狂言『根日女』を演じた加西市こども狂言塾。加西市の新たな狂言文化を継承していく第 4 期生を募集します。

狂言は 2001 年にユネスコ（国連教育科学文化機関）によって、「世界無形文化遺産」に認定された室町時代から続く日本の伝統芸能で、国語の教科書にも取り入れられています。新作狂言『根日女』は、1300 年前の『播磨国風土記』に記された根日女物語を題材に誕生。新作狂言『根日女』を学び・演じることは、加西市をはじめとする播磨地域の郷土の歴史や狂言という伝統文化に触れる貴重な経験となります。

### ポイント

- ・毎年 5 月に舞台上、野村萬斎さん監修・演出の新作狂言『根日女』を演じます
- ・作法や立ち居振る舞いなど、礼儀作法も身につきます
- ・初心者でもプロの狂言師が丁寧に指導します

■稽古日／平成 29 年 4 月から 30 年 5 月までの金曜日を予定（月 2 回程度）19:00 ～ 21:00

■講師／万作の会（野村萬斎さん事務所）、こども狂言塾応援隊

■対象／播磨地域在住の小学 3 ～ 5 年生（2 月 1 日現在）

■会場／市民会館、サカイダンスアカデミーほか（加西市内）

■定員／20 人 ※ 4 月上旬に簡単な面談を行います。

■受講料／市内の方は月 1,000 円、市外の方は月 2,000 円

■申込／申込書（市ホームページ）に記入のうえ、郵送または FAX、メールで申し込みください。

■募集期間／3 月 31 日（金）まで

■申込先／〒 675-2395 加西市北条町横尾 1000  
文化・観光・スポーツ課 ☎ 42-8756 FAX 42-8745  
bunka@city.kasai.lg.jp



昨年 5 月の「第 1 回加西新能」（玉丘史跡公園）で、新作狂言『根日女』を精一杯演じたこども狂言塾の塾生

## ■お稽古に励む塾生から一言

市浦 絢菜さん（九会小 5 年）／狂言では、お腹の底から大声を出し笑うという「笑い」の所作表現があります。最初は恥ずかしかったのですが、だんだんとお稽古をするうちに、楽しくなってきます。また、「狂言」と聞くと少し難しく聞こえますが、お稽古を通じて友達も増え、貴重な体験や礼儀作法などがたくさん学べます。

棟廣 旭さん（西在田小 6 年）／狂言は、室町時代に生まれた古典文化で、いろいろな動き（型）やしぐさ、言葉づかいがたくさんあります。また、いろいろと演じる役があり、決まった型や言葉づかいなど、難しいところもありますが、普段の生活ではあまり体験できないのでおもしろいです。

## 平成 29 年のお稽古がスタート

こども狂言塾の小学 4 ～ 6 年生 17 人が 1 月 13 日、平成 29 年のお稽古を始めました。

塾生は、5 月 4 日の「第 2 回加西能」（市民会館文化ホール）に向け、プロの狂言師やこども狂言塾応援隊から狂言の所作や発声を教わり、新作狂言『根日女』の練習を繰り返しました。

今後もお稽古に励み、こども狂言塾の塾生と応援隊のメンバーらが、全国に誇るふるさとの歴史を、狂言を通じて継承していきます。



「万作の会」の高野和憲さん（左）から狂言の所作を教わる塾生

**KASAI データバンク** 人口／45,087 (+ 2) | 男／21,963 (+ 18) | 女／23,124 (- 16) | 世帯数／17,520 (+ 19)  
H28.12.31 現在（前月比）12 月の出生数／26 人 死亡数／51 人 ■ 2/8、22 は市民課・国保医療課窓口を延長（17:15 ～ 19:00）

■ 加西市ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>  
■ 加西市の市外局番は 0790 です。誌面では省略しています。

発行／加西市  
〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790-42-1110(代)  
編集／加西市ふるさと創造部秘書課 ☎0790-42-8701 FAX0790-43-0291

パンチ穴を開けられる場合はこちらを中心に合わせてください

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。